


# 環境インフラ展開プラットフォーム・環境技術リスト・登録フォーム（日本語版）

項目	内容
技術名	微生物資材による活性汚泥の改質技術
技術分類	バイオレメディエーション
会員企業名	共和化工株式会社
概要	微生物培養資材をリアクター槽に充填し、微生物の活性化を行う。活性化した微生物を含むリアクター内部溶液を調整槽内の処理水と循環を行う。この微生物資材を用いたリアクターシステムの導入により、原水の悪臭原因物質の分解や活性汚泥の改質により、悪臭の抑制や汚泥の減容化に役立っている。
内容 (400 文字以下)	<p><b>【目的】</b>有機性排水処理施設において課題となる、原水の悪臭原因物質に対し、その分解により抑制を図ること。また活性汚泥の改質により沈降性に優れ、処理の安定化と余剰汚泥の減量化につなげること</p> <p><b>【特徴】</b>微生物資材をリアクター内に充填し、調整槽内の処理水をリアクター内に送る。これにより、微生物を活性化させ、活性化した微生物を含む溶液と調整槽内の処理水を循環させる。このリアクターシステムを導入することにより、活性汚泥の改質を図る。改質により、活性汚泥は凝集性・圧密性が向上し、沈降性が優れ上澄み液が良好となる。また油脂分・有機物及び悪臭原因物質の分解を促進するため、処理能力向上が見込まれる。これにより、処理の安定化や余剰汚泥の減量、薬品等のコスト削減を図ることが可能となる</p> <p><b>【効果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活性汚泥の改質による排水処理の安定化</li> <li>・余剰汚泥減量による汚泥処理費用の削減</li> <li>・悪臭原因物質の分解による悪臭の抑制</li> <li>・薬品等の使用量低減によるコストの削減</li> </ul>
図 (1MB 以下)	<p><b>技術名：</b>微生物資材による活性汚泥の改質技術 </p> <p><b>概要</b> 微生物資材を用いたリアクターシステムの導入により、原水の悪臭原因物質の分解や活性汚泥の改質を行い悪臭の抑制や汚泥の減容化を行う</p> <p><b>特徴</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 活性汚泥の改質</li> <li>✓ 余剰汚泥の減量化</li> <li>✓ 悪臭の予防</li> <li>✓ 薬品使用量の低減</li> </ul> <p><b>YMリアクター</b></p> <p>SV30 4.5 → SV30 12.5 <b>沈降性 UP!!</b></p> <p><b>フロー図</b></p> <p>原水 → 調整槽 → 曝気槽 → リアクター (微生物培養資材) → 調整槽</p>

参考資料	記載なし
対象地域	<input checked="" type="checkbox"/> 日本 <input type="checkbox"/> 東南アジア <input type="checkbox"/> 中央、南アジア <input type="checkbox"/> 中国、東アジア <input type="checkbox"/> 中東 <input type="checkbox"/> アフリカ <input type="checkbox"/> オセアニア <input type="checkbox"/> 欧米 <input type="checkbox"/> 中南米 <input type="checkbox"/> 制限なし
実績	国内実績 13 カ所
SDGs との 関連	1. 貧困をなくそう 2. 飢餓をゼロ 3. すべての人に健康と福祉を 4. 質の高い教育をみんなに 5. ジェンダー平等を実現しよう 6. 安全な水とトイレを世界中に 7. エネルギーをみんなに そしてクリーンに 8. 働きがいも経済成長も 9. 産業と技術革新の基盤をつくろう 10. 人や国の不平等をなくそう 11. 住み続けられるまちづくりを 12. つくる責任 つかう責任 13. 気候変動に具体的な対策を 14. 海の豊かさを守ろう 15. 陸の豊かさも守ろう 16. 平和と公正をすべての人に 17. パートナーシップで目標を達成しよう
参照 URL	<a href="https://kyowa-kako.co.jp/business/ym-reactor/">https://kyowa-kako.co.jp/business/ym-reactor/</a>